

中学の生徒の皆さんの健闘に期待！

【校長室便り】

No.9



H30年5月15日(火) 土佐町小中学校 谷内宣夫
中学生は、いよいよ来週木・金曜日が中間テストです。
どのような学習方法でテスト(定期テスト・入試)に取り組めば良いのかわからない生徒(特に1年生)が多いようなので今号は、**テスト勉強の仕方**

についての便りを発行します。3年生の受験勉強も応用できます。この方法は『**家庭学習で学習時間を短くしながら、テストの得点をあげるために私が行った方法**』です。集中して取り組む方法です。※言うまでもないことですが、授業中にしっかり学ぶことと並行して実施しなければなりません。

◆第1期【テスト範囲の問題を徹底的にやってみる時期】

第1期 5日間(1日目～3日目) ※1週間前(5月17日～19日)
◇教科書にあるテスト範囲の問題(問・例題・章末問題・授業でもらったプリント)を全ておこなう。
◇授業中に配布されたプリント・ワークを全てやる。
◇各教科で購入している「ワーク」を開きテスト範囲を全てやる。
◇家にある問題集・参考書を開き、テスト範囲の問題を全てやる。

ただし、問題を解くとき**答えを見たり**、教科書やノートに書かれている**解き方は絶対に見ないことが大切**です。よく見られるのは、問題を解く時、ちょっとでもわからなかったら、すぐに答えを見てそれを写すパターンです。**答えを写してやったつもりになっているだけなのです。わかったつもりになっているのです。それではダメです！**何の役にも立ちません！ **なぜ問題を解くのか？**



それは、**自分がわからないところ・理解できていないところがどこなのかを知るため**です。

たくさん問題に自力で立ち向かい、やった後、答え合わせをしっかりとやります。答え合わせをしながら、まちがっていたらどこまでは解き方・考え方が合っていたのか、どこからまちがったのか、を理解することが肝心です。「直し」をしつかり行って、次に同じ間違いをしないように「正しい解き方」を覚えます。



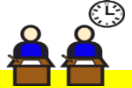
答えを写して○を入れても何の意味もありません。時間の無駄です。問題をやっていれば、どうしてもわからない問題があるはず。何度やっても答えが出ないこともあるはず。その時に先生に「質問」するのです。



友達に聞くことも必要です。自分でやってみてどうしてもわ

からないときに先生や友達の助けを借りるのです。ノートに質問を書いて提出すると、その質問に先生が答えてくれます。「質問」して理解でき、できるようになれば良いのです。

◆第2期【できなかった・わからなかった問題を何度もやり直し、できるようにする時期】【覚える、調べることをやる時期】



第2期 3日間(4日目～6日目) ※3日前(5月20～22日)

第1期でできなかったところをできるようにする練習・訓練の時期です。はじめからできていた問題をやる必要はありません。できなかったところを、できるまでくり返し理解できるまでやるのが大切です。



◆第3期【テスト前日・当日最終チェックの時期】

第3期 2日間(7日目～8日目) ※2日前(5月23～24日)

第1・第2期で取り組んだ「できなかった問題」「わからなかった問題」「覚えなければならなかったこと」「調べなければならなかったこと」ができるようになっているか、最終チェック(その問題だけやり、答え合わせを行う)をして、『できていればOK』、できなければ、できなかったことを再学習して、次の日のテスト(教科)に臨む時期です。



無駄に時間を使わず、集中して短時間で効果的な学習方法を身につけてください。自分で(家庭で)テスト勉強に取り組み、わからないことや疑問に思ったことを、どんどん先生に質問するようにしてみましょう。きっと良い結果が期待できますよ！

◆第4期【テスト直しをして学力として定着させる時期】



第4期 テスト終了後、必ず実行しなければならないこと。

テストが採点され、返却されます。授業でテスト直しの時間も取ってくれます。その時にしっかりと、間違ったり、わからなかった問題について、どうしてできていなかったのか、どこでミスをしていたのか理解できるまでやり直すことが大切です。最終的に同じ問題が出されたら次は間違わないようにしておくことが「確かな学力を身につけた」こととなります。

是非、このやり方で取り組んでみてください。

DO YOUR BEST!!